カトリック幟町教会報
平和の鐘
編集・発行　カトリック幟町教会（宣教企画部 広報係）
チームミニストリー：後藤正史神父(モデラトール),アルベルト神父,
豊田尚臣神父,ジェロム神父
〒730-0016　広島市中区幟町 4 番 42 号
TEL　(082)221-0621　FAX　(082)221-8486
http://www.nobori-cho-catholic.com
2012 年 4 月号　No.442

エマオの晩餐

アルベルト神父

皆さんはこの絵画を見たことがあると思います。これは、カラヴァッジョの全作品の中で、最もよく知られている作品のひとつ『**エマオの晩餐**』です。

カラヴァッジョはこの絵画を1600 年頃に描きました。今、ロンドン（ナショナル・ギャラリー）にあります。

『エマオの晩餐』はルカ福音書24,13～35 の箇所を表現しています。エマオの2人の弟子についての物語です。この福音書の箇所はすでにミサの2つの構造的な部分を含んでいます。

「ことばの典礼」と「感謝の典礼」。

「ことばの典礼」は人生を照らすことばです。イエスは復活後に悲しみと失望に満ちた2人の弟子に近づいて一緒に歩き始めました。「わたしたちは・・・望みをかけていました。しかも・・・」(ルカ 24,21)

しかも、2人の弟子はすべてがおしまいだと言い出したかったのです。初めは二人ともイエスだと分かりませんでした。

そのときイエスは聖書に基づいてメシアについて説明し始めました。復活したイエスの口から出てきた聖書の言葉は、いのちの言葉として2人に希望をあらためて与えることになりました。「わたしたちの心は燃えていたではないか」(ルカ 24,32)。

復活したイエスは、今日も、わたしたちと共に道を歩いてくださいます。わたしたちの心に信仰と希望の炎をあらためて灯して下さるためです。

この希望は「感謝の典礼」によって具体的な経験になります。キリストとの交わりは御体と御血の秘跡に存在します。イエスは食事の席に着いた時、パンを祝福して裂いて与えました。

まさにそのとき、2人は一緒に歩いていた男が復活したキリストであることが分かりました。カラヴァッジョの絵画はこの瞬間を描いています。2人の驚きを描いています。

「すると、2人の目が開け、イエスだと分かった」(ルカ 24,31)。が、そのときイエスの姿は見えなくなっていました。

（2 ページに続く）

こうして、裂かれたパンの前で２人が驚きでいっぱいでありながら、イエスの姿は見えなくなりました。この裂かれたパンこそがイエスの存在を表す新しいしるしだったからです。

絵画に寓意的な要素がたくさんあります。

食卓の上にパンとワインがあります（キリストの御体と御血）。テーブルの端には落ちそうな果物の籠が置かれています。原罪で人類の落ちそうな状態を表しているのです。籠の影は魚のような形の影です。魚はキリストの象徴です。なぜなら、魚はギリシャ語で「ＩＸΘΥΣ　＝　イクトゥス」と言います。「イクトゥス」とは、ギリシャ語で「魚」という意味です。同時に「イエス、キリスト、神の、子、救世主」の頭文字を並べたものでもあるからです。

祝福しているイエスの顔は若い顔です。若さは永遠のいのちを指しています。復活したイエスが与えられたいのちです。

イエスが祝福してパンを裂いた時にイエスだと分かった2人の弟子。左側の弟子は、驚嘆に覆われて、椅子のひじかけに手を押しつけて立ち上がろうとしています。右側の弟子はイエスだと分かった時に十字架の形で手を伸ばしています。その発見の驚きにより十字架に付けられたようなことです。

イエスの右の手は祝福しています。同時に宣べ伝えるために派遣しています。2人の弟子はイエスの死と復活を述べ伝えるように派遣されています。2人は「時を移さず出発して・・・道で起こったことや、パンを裂いてくださったときにイエスだと分かった次第を話した」（ルカ 24,33～34）。

イエスの左側に立っているのは宿の主人です。彼は出来事にとても近いですが、この出来事にかかわっていないのです。宿の主人の影はキリストの光冠を作っているにもかかわらず、彼は2人の弟子のドラマから隔たっているようです。無関心の危険です。

わたしたちは？　わたしたちは傍観者（観客）か主人公（主演者）か。

「ことばの典礼」（聖書の言葉）と「感謝の典礼」（裂いたパン）によって養われるわたしたちもエマオの弟子たちの経験を味わうために心を開きましょう。

わたしたちが復活した主と出会って造り変えられる恵みを見いだすことができるように復活節はわたしたちに促して下さいます。

広島地区信者養成コース「祈りの体験」を終了して

2010 年 4 月～2012 年 3 月

ＹＫ
（スタッフ）

お蔭様で、2年間のコースが終了しました。2年間と言いましても計12回、1回が午前 10 時から午後4時まで、単純に計算すると、会場の観音町教会に72時間居たことになります。数字で表すといとも簡単ですが、参加された皆様、本当にお疲れ様でした。（スタッフとして参加した私には、本当に、本当にお疲れ様でした。と言いたいです。）

しかし、最終回の全体の分かち合いで出てきた言葉は、頂いた恵みの体験と感謝と次回も参加したいという言葉でした。（あー良かった。あと片付けも軽やかに・・・・）

幟町教会からの参加者は、延べ221人（全体では、延べ624人）

第1回の参加者は、93人（幟28人）でしたが最終回は、34人（幟　13人）と少しずつ減っていきました。参加できない理由は人それぞれでしょうが、次の 2 つについては以下のようにしてみまし

た。

1.分かち合いが苦手.・・・・

分かち合いの前に下欄の祈りをして始めるようになり、改善されました.。

分かち合いのルール

＊ 1人1人の分かち合いを、先入観なしに、心を込めて聴く。～みことばを聴くように～

＊ 分かち合ってくれたことを判断したり、評価したり、コメントしたりしない。～福音を読むときのように～

＊ 1人1人を人格者として尊敬し、認め合う。～そこで話されたことはそこだけに留める。～

＋祈りましょう。

主よ、今ここにいる私達1人1人に、あなたの愛の霊を送って下さい。そして、1人1人が心を開いて体験を語ってくれるとき注意深く、心を込めて、聴くことができるように・・・・

また、他の人を通して私達に語ってくださる神の声に、耳を傾けることができるように私達の心を照らし、1人1人としても、共同体としても、その呼びかけに勇気をもって応えることができますように・・・

私達の主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

2.時間が長すぎて疲れる・・・・

これについては、休憩時間を長くし、しっかりリラックスするために別の建物（ヨゼフ館）にティーサロンを準備しました。（コーヒーブレイクは、とても効果的。）

などなど他にも色々改善を重ねてきました。未熟な私がスタッフとして体験したこと、参加者の1人として「祈りの体験」をしたことは私に大きな変化をもたらせと感じています。神に感謝。指導して下さったミゲル・ラフォント神父様、阿部光子シスター、参加者の皆様、会場を提供して下さる観音町教会他スタッフの皆様に感謝します。

2012年 5 月スタートの『祈りの体験』は、以上のような環境が整った状態でのスタートです。

どうぞ安心してご参加下さい。

ＫＡ
（参加者）

今回12回続いた「信者養成コース」が一区切りとなりました。

最終回ということで、参加者全員が感想を述べた中から抜粋してお伝えしましょう。

祈りに際し、心を統御するには身体を上手に使って祈れば、深くまた集中して祈ることができます。息を吸う、吐き出すというような全身を使って祈りに入れば、心も落ち着いてきて、より良く祈ることが出来るようになります。

『恐れるな、わたしはあなたと共にいる。あなたはわたしのもの。私は主、あなたの神』 イザヤ書43・・・という聖句も教えて頂きました。

祈りの中で、過去に「決断」したことを振り返ってみるとその内に、神様に出会っていたのだ、ということを今更のごとく感じられました。

祈りとは、神様に向かって「渇望」することを、生涯を賭けて祈り続けることです。

50 年以上に渡り、渇望する道を歩んできた、と話された指導者ラフォント神父の体験談に感銘を受けました。人生渇望することに向かってまっしぐらに生きてゆくことができれば、生き方も変わってくるかもしれません。私には、この点が今回の最大の収穫だったと感じています。

参加者は市内各教会からの参加でしたので、新しい出会いもあり、共同体としてのつながりを改めて確認することができました。

分かち合いによって、他人の話を聞く耳を持てるようになったとか、喜びを感じたと言われる方が大勢おられて、いかに大切なことかと改めて認識し直しました。

男性の参加によって、分かち合いが深まる面もあったとの感想もあり、間もなく始まる次回の「祈りの体験コース」には、男性の皆さんも大勢ご参加くださると幸いです。

4～5 月の行事予定

4/8(日)†復活の主日
　　教会家族デー
4/13(金) マリア会総会
4/15(日) †復活節第 2 主日
　日曜学校入学式・始業式
　初聖体
　ヨセフ会主催の掃除
　新旧合同運営委員会
4/20(金) 愛宮ラサール座禅会
　（地下聖堂 19：00）
4/22(日)†復活節第 3 主日
4/26(木) 祈りの集い
　　（地下聖堂 18：30）
4/29(日)†復活節第 4 主日
　高齢者の集い
5/3(木) 津和野巡礼
5/6(日)†復活節第 5 主日
　パイプオルガン定期演奏会（16：00）
5/11(金)みことばの分かち合い
　　マリア会定例会
5/12(土) 祈りの体験
　（観音町教会 10：00）
5/13(日)†復活節第 6 主日
　信徒総会
5/18(金) 広島地区女性連合総会
5/20(日)†主の昇天
　ヨセフ会主催の掃除
　運営委員会
5/27(日)†聖霊降臨の主日
　高齢者の集い

編集後記

野間神父さま

回復の兆し

2 月に救急車で緊急入院された野間神父さま。一時は自呼吸も出来ず「数日間の命かも」との通告を受ける。…が、数週間の危篤状態の後、目を開ける時もあり、呼びかけに答えたり、最近は小さな声で「お腹がすいた」と言われたりと回復目覚しい。教会共同体での不満を言う者に「イエス様はね、いろいろな人を招かれるんだよ」との諭しが今も心に染み入る。このまま良いご回復をされますように。　（の）